

シルク博物館令和7年度年報

シルク博物館

令和8年6月

シルク博物館令和7年度年報

目次

1	ごあいさつ	1
2	建物の概要	2
3	令和7年度のおもな出来事	2
4	事業	2
(1)	展示	2
	ア 常設展示	
	イ 春の企画展 シルク博物館新収蔵品展	
	ウ 秋の特別展 「第28回全国染織作品展」	
(2)	教育普及事業『チャレンジ！かいこプログラム』	5
	ア 第1弾 蚕種配布	
	イ 第2弾 かいこ教室	
	ウ 第3弾 団体利用・ワークショップ	
	エ 第4弾 たのしいかいこの発表会	
(3)	実演・講習会	9
	ア くみひも作り体験	
	イ 手作り真綿の実演と講習会	
	ウ スカーフ染め体験	
(4)	講座・講演会	10
	「シルクが切り拓く未来材料の新たな可能性」	
(5)	夏の個人向け蚕種配布	10
(6)	博物館実習生の受入れ	10
(7)	中学生企業訪問の受入れ	11
(8)	連携事業	11
	ア 全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン「カイコを育てよう！2025」	
	イ ミュージアム・ミッション 2025	
	ウ シルキークリスマス	
	エ 横浜輸出スカーフ展示「Yokohama Scarf Stories-世界の風に吹かれて-」	

(9) 資料活用	13
ア 購入	
イ 寄贈	
ウ 特別利用	
(10) 刊行物	16
(11) 研修・視察	16
(12) レファレンス	16
(13) 後援・協力	17
ア 協賛・後援等	
イ 他機関への協力	
(14) 職員の派遣	18
(15) 広 報	18
ア 春の企画展	
イ 秋の特別展	
ウ チャレンジ！かいこプログラム	
エ 講座	
オ 常設展、基本情報	
カ その他	
(16) その他	21
ア HP のリニューアル	
イ オリジナルグッズの作成	
ウ クリスマス装飾	
5 資料	22
(1) 組織と職員	22
(2) 事業費	22
(3) 所蔵資料	22
(4) 入館者状況	23
(5) 過去の特別展・企画展一覧	23
(6) シルク博物館 基本方針	27
(7) シルク博物館 収集方針	28

1 ごあいさつ

シルク博物館は、昭和 34（1959）年 3 月 12 日、横浜開港 100 年記念事業として建設されたシルクセンター内に設置され、令和 8 年 3 月で 67 周年を迎えました。開館以来、絹に関する知識の普及と伝承、絹製品の需要促進、国際貿易及び観光の振興等に寄与するとともに、魅力ある博物館として特別展・企画展等の充実や、蚕やシルクの理解促進のための教育普及事業等に取り組んでまいりました。

令和 7 年度は、春の企画展として令和元年以降の新収蔵品を紹介する展覧会を、秋の特別展では第 28 回全国染織作品展を開催しました。また、絹や蚕に関するワークショップ、学校教育と連携した教育普及活動に加え、各関連団体や他施設、教育機関との連携事業など、さまざまな事業を実施しました。

なお、当館は昭和 48（1973）年に博物館法に基づく登録博物館となっておりますが、このたび、令和 8 年 2 月 10 日付にて新たな博物館法に定める博物館として登録されたことをご報告させていただきます。

今後とも、シルク博物館の活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和 8 年 6 月 1 日

シルク博物館

2 建物の概要

【博物館】

展示面積（2 階）	798.00 m ² （241.39 坪）※受付前、ミュージアムショップを含む
（3 階）	558.03 m ² （168.80 坪）
イベントホール	212.72 m ² （64.35 坪）
第一収蔵庫	21.76 m ² （6.58 坪）
第二収蔵庫	46.24 m ² （13.99 坪）
映写室	24.48 m ² （7.41 坪）
準備室	62.62 m ² （18.94 坪）
図書室	67.80 m ² （20.51 坪）

改装 昭和 44（1969）年（開館 10 周年記念）
平成 11（1999）年（開館 40 周年記念）
平成 24（2012）年（開館 53 周年記念）

【シルクセンター】

所在地 神奈川県横浜市中区山下町 1 番地
構造 地下 2 階、地上 10 階、塔屋 3 階
建築面積 3,853.53 m²（1167.7 坪）
延床面積 25,332.02 m²（7,676.3 坪）
設計監理 坂倉準三建築研究所
施工 鹿島建設株式会社
経過 起工 昭和 32（1957）年 11 月
竣工 昭和 33（1958）年 11 月（一部）、昭和 34（1959）年 3 月 12 日（全館竣工）
開館 昭和 34（1959）年 3 月 12 日

3 令和 7 年度のおもな出来事

春の企画展 「シルク博物館新収蔵品展」の開催
秋の特別展 「第 28 回全国染織作品展」の開催
令和 7 年 10 月 ホームページのリニューアル
令和 8 年 2 月 10 日 登録博物館

4 事業

(1) 展示事業

ア 常設展示

年間を通して蚕の飼育展示、繭やシルクの科学、絹製品ができる過程、衣食住にかかわる絹製品、蚕糸業の歴史、重要無形文化財保持者をはじめとした現代作家の着物、アジアを中心とした民族衣装、蚕織錦絵など、シルクに関するさまざまな収蔵品を、適宜展示替えしながら紹介した。また、日本の復元時代風俗衣装人形は、4 体の着替えを実施した。

イ 春の企画展

『シルク博物館新収蔵品展』

令和2年(2020)からの5年間に新たに収蔵した資料約100点を展示公開した。寄贈された木版染めの小山保家・哲男の作品、昭和の花嫁衣装等や、購入した横浜とシルクの歴史を伝える錦絵や文献資料をはじめ、既存のコレクションである佐賀錦の人間国宝 古賀フミや刺繍の永山登志子の関連資料も展示した。本展は新収蔵資料をご覧いただき、シルク博物館に親しんでいただく機会とした。

【会期】 令和7年4月26日(土)～ 6月8日(日) (開催期間 38日間)

【主催】 シルク博物館

【後援】 神奈川県/横浜市にぎわいスポーツ文化局/神奈川新聞社/tvk/NHK 横浜放送局/
横浜繊維振興会

【主な展示内容】

- ・染織作家コレクション 古賀フミ、永山登志子、小山保家、小山哲男
- ・「用の美」のキモノ 北村武資・福田喜重・由水十久
- ・染色工芸品としてのキモノ 伊砂利彦、伊砂新雄ほか
- ・生活の中のシルク 昭和～平成のきもの、シルクリボン等
- ・生糸貿易港横浜とシルク 錦絵「再改横浜風景」貞秀、版本『横濱開港見聞誌』等

【関連事業】レトロなキモノの試着体験 5月4日(日祝)、5日(月祝)、6月1日(日) 13時～15時

【写真】



ポスター



錦絵「再改横浜風景」貞秀 (部分)



展示風景

【入館者数】

(単位:人)

区分	正規料金			割引料金			無料※	計
	一般	シニア 大学生	高校生以下	一般	シニア 大学生	高校生以下		
日本人	529	236	428	71	70	412	904	2,650
外国人	131	128	17	52	7	1	40	376
計	660	364	445	123	77	413	944	3,026

※「無料」:招待券、優待券など無料入館者

ウ 秋の特別展

「第 28 回全国染織作品展」

当館では、絹の需要促進や服飾文化の発展に貢献するため、昭和 45 年より「全国染織作品展」を開催し、今回で 28 回目を迎えた。本展では、絹を用いた染織作品を広く全国から募集し、厳正な審査のうえ、入選となった作品を一堂に展観することで、染織作家の研鑽の成果を表彰し、今後の制作活動の一助とした。

【会期】令和 7 年 10 月 25 日(土)～ 11 月 29 日(土) (開催期間 31 日間)

【主催】シルク博物館

【協賛】一般財団法人織貿会館/一般財団法人大日本蚕糸会/一般財団法人日本真綿協会

【後援】神奈川県/横浜市にぎわいスポーツ文化局/神奈川新聞社/tvk/NHK 横浜放送局/

東京織物卸商業組合/横浜繊維振興会

【展示内容】入選作品 65 点(着物 32 点、着尺 4 点、帯 17 点、壁掛け等 12 点)

【図録】『第 28 回全国染織作品展』 A4判 32 頁

【写真】



シルク博物館大賞 織着物「光芒」松島優子



展示風景



受賞者

【入館者数】

(単位:人)

区分	正規料金				割引料金				無料※	計
	一般	シニア	大学生	高校生以下	一般	シニア	大学生	高校生以下		
日本人	501	294	53	136	134	137	40	461	764	2,520
外国人	94	85	3	4	45	10	0	161	75	477
計	595	379	56	140	179	147	40	622	839	2,997

※「無料」:招待券、優待券など無料入館者

(2) 教育普及事業

『チャレンジ！かいこプログラム』

引き続き、蚕種配布・かいこ教室・たのしいかいこの発表会等の事業や通年開催のワークショップ・学校利用等、当館の子ども向け教育普及事業を「チャレンジ！かいこプログラム」と総称して推進した。

ア 第1弾 蚕種配布

蚕の飼育を通してシルクに興味を持っていただくことを目的とし、横浜市内を含めた神奈川県内全域の小学校等に蚕種の有償配布を実施した。なお、指導者用資料として蚕種配布者全員に「蚕の飼育マニュアル」を配布するとともに、教員を対象とした蚕についての講座も開講した。

【配布日】令和7年5月15日(木)～5月17日(土) (3日間)

【配布件数】143件(うち横浜市立小学校42件、県内公立小学校12件、その他89件)

【配布数】蚕種：292袋(1袋約450粒入)、人工飼料：192本

【関連企画】

企画名	実施日	回数	講師	参加者
かいこについての講座	5/15(木)～17(土)	5回	当館職員	82人

イ 第2弾 かいこ教室

シルクを生み出す「かいこ」について、子どもたちにより一層興味・関心を持っていただくため、夏休みの時期に展示や体験を通して、蚕の成長過程・種類、繭や生糸の特徴等について楽しく学ぶかいこ教室を開催した。

【会期】令和7年7月26日(土)～8月10日(日)(計14日間)

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県教育委員会/横浜市教育委員会/神奈川新聞社/tvk/

NHK横浜放送局/一般財団法人日本真綿協会

【展示】めずらしいかいこの展示および人気投票、前年度めずらしいかいこの展示の人気投票結果、まゆるんと学ぼう！「かいこ」ってどんな生き物？(蚕の生態に関する解説パネル)、みんなで作ろう！桑の木パネル

【体験】映画「かいこ」の上映、かいこの観察会、まゆ人形作り、生糸のランプシェード作り、まわたのスタンド作りとシルク博物館の見学ツアー

(平日)

体験内容	参加者
映画「かいこ」の上映	129 人
かいこの観察会	138 人
まゆ人形作り	145 人
生糸のランプシェード作り	152 人

※各体験は1日2回、各回定員20名で開講し1日で全ての体験に参加できるプログラムとした。

※「まゆ人形」「生糸のランプシェード」は有料(参加費各200円)。

(土日・祝日)

体験内容	参加者
まわたスタンド作りとシルク博物館の見学ツアー	93 人

※1日3回、各回定員8名で開講した。

【写真】



かいこの観察会



まゆ人形作り



生糸のランプシェード作り



まわたのスタンド作り

【入館者数】

(単位：人)

区分	正規料金			割引料金			無料※	計
	一般	シニア 大学生	高校生以下	一般	シニア 大学生	高校生以下		
日本人	445	57	284	9	4	4	168	971
外国人	38	20	0	0	0	0	8	66
計	483	77	284	9	4	4	176	1,037

※「無料」：招待券、優待券など無料入館者

ウ 第3弾 団体利用・ワークショップ

a 団体利用

団体見学のなかでも学校利用が大きな割合を占める当館では、説明や映写、ワークシートの利用を含めた見学を通して、蚕について知識を深めるとともに、蚕が生み出す「シルク」の学習へとつなげられるよう、見学内容の充実を図った。また、学校やクラスによって学習したい内容が異なるため、事前に担当教員との打ち合わせを行った。

【団体利用数】 66校のうち小学校は25校（横浜市立校17校）

【利用者数】 2618人のうち小学生は1793人（横浜市立1285人）

b 子ども向けワークショップ

蚕や繭の特徴等について、子どもたちが楽しく学べるよう、当館オリジナルキャラクター「まゆるん」のまゆ人形作り、真綿を利用したあひる人形作り及び、生きている蚕を観察しながら学ぶかいことシルクの勉強会を開催した。

【開催日等】

企画名	実施日（各土曜日）	回数	講師	参加者
まゆ人形作り	5/3、7/5、8/16、11/8、3/28	5回	当館職員	25人
まわた人形「あひるの親子」作り	5/31、9/13、1/17	3回	当館職員	6人
かいことシルクの勉強会	6/7・21、8/30、11/15、2/7、3/14	6回	当館職員	44人

エ 第4弾 たのしいかいこの発表会

「チャレンジ！かいこプログラム」の集大成として、子どもたちが飼育した蚕の観察記録、繭や生糸を使った作品を募集し、蚕について学んだ成果等を発表する機会として開催した。なお、12月21日(日)には表彰式を実施した。

【会期】 令和 7 年 12 月 16 日(火)～令和 8 年 1 月 25 日(日) (開催期間 29 日間)

【主催】 シルク博物館

【後援】 神奈川県教育委員会 / 横浜市教育委員会 / 神奈川新聞社 / tvk /
NHK 横浜放送局

【展示】 出品作品の展示 (出品団体数 33 件、制作者総数 558 名、出品数 244 点)

【関連企画】

企画名	実施日	回数	講師	参加者
生糸のランプシェード作り クリスマスバージョン	12/13(土)	1 回	当館職員	1 人
まわたの天使作り	12/20(土)	1 回	当館職員	2 人
たのしいかいこの発表会 表彰式	12/21(日)	1 回		125 人

【写真】



展示の様子



表彰式



表彰式 集合写真 第一部



表彰式 集合写真 第二部

【入館者数】 同時開催のシルキークリスマスの入館者数を含む

(単位：人)

区分	正規料金			割引料金			無料※	計
	一般	シニア 大学生	高校生以下	一般	シニア 大学生	高校生以下		
日本人	288	95	56	7	33	92	948	1,519
外国人	51	11	6	0	0	0	23	91
計	339	106	62	7	33	92	971	1,610

※「無料」：期間中の小・中、招待券、優待券利用、及び無料入館日(12月21日(日))の入館者

(3) 実演・講習会

ア くみひも作り体験

鎧や刀などに使われ、現在でも帯締めや懐中時計の紐など様々に活用されている「くみひも」をより身近に感じていただくため、くみひもストラップ作りの体験を実施した。

【開催日等】

企画名	実施日（各土曜日）	回数	講師	参加者
くみひもストラップ作り	4/12、7/12、11/1、12/6、2/14	5回	当館職員	23人

イ 手作り真綿の実演と講習会

真綿作りの伝統的な技術を次の世代に伝えるため真綿に関する実演や講習会を開催した。

【後援】一般財団法人日本真綿協会

【講習会開催日等】

企画名	実施日（各土曜日）	回数	講師	参加者
手作り真綿の講習会	6/28、10/11	2回	室伏藍	8人
手紬糸作り講習会	10/18、11/22	2回	永田順子	12人

【実演開催日等】

企画名	実施日（各土曜日）	回数	講師
手作り真綿の実演	4/19、5/24、9/20、11/29、 1/24、3/7	8回	室伏藍
手紬糸作り実演	5/10、9/27、2/21	3回	永田順子

ウ スカーフ染め体験

シルクスカーフに親しんでいただくため、シルクハンカチにビー玉やゴムを使って簡単な絞り模様をほどこし、草木染め染料による染色体験を実施した。

【開催日等】

企画名	実施日	回数	講師	参加者
スカーフ染め体験 (成人向け)	10/4 (土)	1 回	佐藤のり子	1 人
小さなシルクハンカチ染め体験 (子ども向け)	8/23 (土)、24 (日)、1/10 (土)、11 (日)	4 回	佐藤のり子	22 人

(4) 講座・講演会

国内での絹の需要が激減し、シルク産業の存続に危機が訪れているといわれる現状の中、未来においてシルクがどのような可能性を持ち、またどのような役割を果たしていくのか、繊維としての利用にとどまらない新たなシルクの利用法や最新の研究成果について専門家を講師に招き考察する。

【開催日等】

講座名	実施日	講師	参加者
シルクが切り拓く未来材料の新たな可能性	3/1 (日)	中澤靖元 (東京農工大学科学博物館 館長)	14 人

(5) 夏の個人向け蚕種配布

昨年度に続き、『チャレンジ！かいこプログラム』第1弾の小学校等に向けた蚕種配布とは別に、かいこを育ててみたい方からのご要望にお応えし、個人向けの蚕種配布を行った。

【配布日】令和7年7月18日(金)～20日(日)(3日間)

【配布件数】97件

【配布数】蚕種：106袋(1袋約20～100粒入)

(6) 博物館実習生の受入れ

学芸員養成に協力するとともに当館を広く周知し、絹に対する理解と関心を深めていただくため、講義と普及活動の実践(蚕の飼育も含む)による受入れを行った。実習では蚕の飼育、桑葉の収穫、展示パネル作成、夏の子ども向け企画「かいこ教室」において指導役として普及活動の実践等を行った。実習中に学んだことを来館者に自ら説明することで、絹に関わる産業、歴史、文化への興味関心を深めていただく機会とした。

【実習期間】令和7年7月23日(水)～8月11日(月・祝日)(3班に分け実施)

【受入校】 清泉女子大学、神奈川大学、東京農業大学、専修大学、女子美術大学、
東京都立大学、日本大学、成城大学、日本女子大学 各1人、計9人

(7) 中学生企業訪問の受入れ

【受入日】 令和7年10月1日(水)

【受入校】 横浜国立大学教育学部附属横浜中学校 2年生 9名

【写真】



10月 横浜国大付属中学校・質疑応答

(8) 連携事業

ア 全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン「カイコを育てよう！2025」

一般財団法人大日本蚕糸会が中心となり、各地の蚕糸関係博物館等と協力して実施している事業に参加した。本企画は、「かいこの飼育体験」を通じて、蚕糸業の現状を知ってもらうとともに、これからの蚕糸業を考えてもらうための取り組みで、令和4年度より毎年開催されている。

【当館対象事業】 夏の個人向け蚕種配布

令和7年7月18日(金)～20日(日)(3日間)

【主催】 「カイコを育てよう！2025」実行委員会/一般財団法人大日本蚕糸会

【参加施設】 群馬県立日本絹の里/野外博物館 北海道開拓の村/

駒ヶ根シルクミュージアム/岡谷蚕糸博物館/西予市野村シルク博物館/
ジャパンシルクセンター(大日本蚕糸会)/シルク博物館

イ ミュージアム・ミッション 2025

神奈川県立歴史博物館が中心となり、関内・山手・みなとみらい地区の博物館園が連携して実施する「ミュージアム・ミッション」に参加した。この事業は、夏休みの子ども向けイベントの一つで、近隣に多くの館園があることと、その活動を知っていただくことを目的としてしている。

【期間】 令和7年7月19日(土)～8月31日(日)

【内容】 参加者はミュージアムマップを持って参加館園をまわり、それぞれのミッションに挑戦する。ミッションを達成した館園の数に応じてオリジナルグッズなど特典がもらえる。シルク博物館では常設展ワークシートをミッションとした。

ウ シルキークリスマス

多くの方々にシルク博物館に来ていただき、楽しくシルクへの理解と関心を深めていただくことを目的として、12月21日（日）を「シルキークリスマス」としてクリスマスイベントを実施した。当日は入館無料とし、午前中、「たのしいかいこの発表会」表彰式を開催し、午後は横浜市民広間演奏会によるクリスマスコンサート（クラシック・ヨコハマ 2025）を実施して賑わった。また、シルクミュージアムショップの協力により、シルクフェア（スカーフやネクタイ等のワゴン販売）も実施した。

【日時】 令和7年12月21日（日）

【主催】 シルク博物館

【協力】 クラシック・ヨコハマ 2025/横浜市民広間演奏会/
横浜シルクミュージアムショップアソシエーション

【入館者】（無料入館日） 総入館者数 292人

プログラム名	出演者等	観覧者
クラシック・ヨコハマ 2025 ミュージアムコンサート（事前予約制）	横浜市民広間演奏会	58人

【写真】



コンサートの様子



コンサート出演者

エ 横浜輸出スカーフ展示

「Yokohama Scarf Stories ― 世界の風に吹かれて―」

令和4年度より、シルク博物館と横浜市歴史博物館、関東学院大学の三者で「横浜スカーフ・アーカイブの保存と活用に関する覚書」を締結し、連携事業を実施している。その一環として、横浜市歴史博物館が所蔵する「横浜輸出スカーフ・アーカイブ資料」からセレクトし、当館展示室において小規模な企画展示を開催した。

【実施日】 令和7年12月6日（土）～令和8年1月12日（月・祝）

【主催】 シルク博物館

【共催】 横浜市歴史博物館 関東学院大学

【企画・監修】 KGU 横浜スカーフ研究プロジェクト（代表：山崎稔恵）

【写真】



展示の様子



案内ハガキ

(KGU 横浜スカーフ研究プロジェクト作)

(9) 資料活用事業

ア 購入 2件2点

資 料 名	点数
織着物「光芒」（第28回全国染織作品展 シルク博物館大賞作品）	1 領
タペストリー「おしゃべりの余韻」（第28回全国染織作品展 シルク博物館賞作品）	1 点

イ 寄贈 2件 7点

資 料 名	点数	寄 贈 者
斎藤孝子作 型絵染着物「合歓木の花」	1 領	斎藤孝子
斎藤孝子作 型絵染着物「観蓮会の朝」	1 領	斎藤孝子
斎藤孝子作 型絵染着物「野アザミ文」	1 領	斎藤孝子
斎藤孝子作 型絵染着物「春彩」	1 領	斎藤孝子

斎藤孝子作 型絵染帯 「花野」	1 本	斎藤孝子
斎藤孝子作 型絵染帯 「牡丹文」	1 本	斎藤孝子
篠原晃代作 おぼろ型長着 「曲譜」	1 領	篠原正明

ウ 特別利用 14 件 37 点

資 料 名	点数	特別利用内容／掲載誌等	利用者	掲載日等
『THE STORY OF SILK』 「THE AMERICAN SILK JOURNAL」 VOL. 42 NO. 2／NO. 10 貞秀「再改横浜風景」(部分)	4 点	総合展示 第5展示室 リニューアルに伴う 展示パネル作成	国立歴史 民俗博物館	R8. 3/17
体験用機織り機	1 点	早稲田大学商学部「科学・ 技術の発達史」授業	岡田大士 (中央大学)	
生糸商標「大日本群馬県前橋市村社」	1 点	グッズ(シール) 製作・販売	三美堂	6/18
生糸商標「大日本神奈川県 改良器械 製糸 萩原商店」	1 枚	『新宿ゴールデン街 「双葉」女三代記』 萩原初江／城島徹 著 掲載	藤原書店	8/30
復刻スカーフ	1 件	2025 年度夏季公開講演会 「横浜が織りなす色彩と意匠」 広報資料掲載	日本家政学会 色彩・意匠 学部会	
錦絵「かいこやしない草」広重(部分) 生糸商標「清水製糸」	2 点	テレビ朝日「プラチナファミ リー」にて『社会科中学生の 歴史』を放映	(株)エスビー ポーン	9/30
「古代裂縞百種」	1 点	科研費 基盤○「小倉織の多様 化に関する総合的研究」 における木綿縞調査	北九州市立 自然史・歴史 博物館	10/26
生糸商標「清水製糸」	1 点	帝国書院発行 高等学校地歴 科 日本史探求 副教材(資料 集)『図説 日本史通覧』再版 及びデジタル版 掲載	サイネット(株)	

錦絵 「大日本蚕神像並略伝」 国輝 「養蚕天覧之図」 国利 「上州富岡製糸場」 国輝 「美人養蚕ノ図」 梅堂国政 「新版 本場養蚕寿語禄」 梅堂国政	5 点	群馬県立世界遺産センターにて上映のシアター映像制作	TOPPAN(株)	
生糸商標「清水製糸」	1 点	帝国書院発行 中学校社会科歴史的分野教科書『社会科 中学生の歴史-日本の歩みと世界の動き-指導書 web サポートコンテンツ「評価問題例(テスト例)内の掲載	帝国書院(株)	
シルクセンター外観、シルク博物館内観	3 点	技術評論社発行『ずかん カイコ』において当館の紹介	柳澤静磨	
「絵本宝能縷」 かみこやしなひ草 第十 北尾重政	1 点	日本真綿協会発行「絵で見る真綿・綿入れ・紬」に掲載	(株)ベーネ・ベーネ	
時代復元衣装人形 上古時代 貴族の女子姿(衣、裳) 部分	1 点	雄山閣発行『日本古代の櫛文化と髪型』に掲載	大熊久貴	
「絹笠大明神」 「衣襲明神真影」 (絹笠明神像) 「照光寺馬鳴菩薩」 「馬鳴菩薩像」 「蚕影山」 「馬鳴菩薩」 「馬乗蚕神」 蚕児掃立用紙(蚕神像) 「蚕養国大神」 「蚕影山牛玉宝印」 「常福寺蚕霊尊」 小山観音「繋ぎ馬」 「富士浅間大神」	14 点	山東大学 博士論文 「馬娘婚姻説話の日中比較」 (予定)に掲載	李 雁 超	

(10) 刊行物

- ・特別展図録『第28回全国染織作品展』 A4 32頁 令和7年10月刊行
- ・「2025.10－2026.3 催しものご案内」 A3 四つ折り 令和7年9月発行
- ・「2026.4－9 催しものご案内」 A3 四つ折り変形 令和8年3月発行

(11) 研修・視察

内 容	研修・視察先	日付	氏名
県博協研修「神奈川県立生命の星・地球博物館におけるインクルーシブな企画展の取り組みと特別展示室の照明更新について」	神奈川県立生命の星地球博物館	5/21（水）	高橋典子
全国博物館館長会議 「守り受け継ぎ未来を創る博物館の営み」	文化庁	7/2（水）	高橋典子
県博協研修「横浜美術館の大規模改修とリニューアルオープンについて」	横浜美術館	8/1（金）	高橋典子
神奈川県博物館協会 第5回研修会 「博物館の広報、情報発信について」	横浜市歴史博物館	2/27（金）	中村由佳
蚕糸の日 2026 フォーラム	東京ウィメンズプラザホール	3/13（金）	佐野遊海

(12) レファレンス

蚕を飼育する学校、個人からの問い合わせのほかに報道機関からのシルクに関する問い合わせなどが多数あった。

分 類	主 な 内 容
蚕の飼育に関して	飼育方法（ふ化から繭作りまでの各過程）
	繭の活用方法（糸くり、繭人形、染色、真綿作り）
	蚕の入手方法
	人工飼料の入手方法
	エサ（桑葉）の確保
蚕糸業に関して	座繰器について
	蚕種について
	製糸の道具、蚕具について

(13) 後援・協力

ア 協賛・後援等

後援内容	事業名	主催	期間	事業内容
協賛	2025 横浜ファッションウィーク	横浜ファッションウィーク実行委員会	4/19(土)、 20(日)、 4/26(土)～ 5/6(火)	横浜市内のファッション産業の振興、生活文化産業の発展を目指し、横浜の代表的な地場産業である「横浜スカーフ」の振興としてスカーフアレンジ教室など各種ワークショップ、スカーフの展示即売などが開催された。
後援	横濱コクーン・スクウェア 2025	横濱コクーン・スクウェア 2025 実行委員会	10/3(金)・ 4(土)	横浜と絹のつながりを歴史・文化・教育など多方面からアプローチし、絹文化の啓蒙や伝統の継承および絹関連商品を展開することにより、横浜及び絹産業の活性化に資することを目的にシンポジウムや映画上映、各地の生産者のブース出展などがあった。

イ 他機関への協力

協力内容	事業名	主催	期間	備考
チラシによる クーポン券の配布	かながわ シルクフェア	かながわ シルクフェア 実行委員会	3/11(火)～ 17(月)	クーポン券 1 枚持参 につき大人 2 名まで 入館無料 期間中の利用者 49 名
「ハマフェスパス ポート」を提示し た者に団体料金を 適用	ハマフェス Y166 『ハマフェスパ スポート』企画	ハマフェス 実行委員会	5/10(土)～ 6/29(日)	期間中の団体料金入館 者数 602 人のうち利用 者 1 人
大使館関係者、 会議出席者に リーフレット・ 招待券を配布	第 9 回アフリカ 開発会議	横浜市国際局	8/3(日)、 8/20(水)～ 22(金)	横浜繊維振興会の ブースに提供した
イベントの景品として 招待券 (10 枚 10 名分) の提供	第 26 回矢上祭	慶應義塾大学公認 学生団体矢上祭 実行委員会	9/20(土)・ 21(日)	矢上キャンパス 理工学部が主体の 学園祭
イベントの景品として 招待券 (10 枚 10 名分) の提供	第 141 回明大祭	明大祭実行 委員会	11/1(土)～ 3(月・祝)	和泉キャンパス 来場者：44,000 人
イベントの景品として 招待券 (10 枚 10 名分) の提供	第 51 回筑波大学学 園祭「雙峰祭」	筑波大学学園祭 実行委員会	11/1(土)～ 3(月・祝)	筑波キャンパス 来場者：40,000 人

イベントの景品として招待券（10枚10名分）の提供	フェリスフェスティバル 2025	フェリス女学院大学大学祭実行委員会	11/2(日)・3(月・祝)	緑園都市キャンパス
イベントの景品として招待券（10枚10名分）の提供	第76回駒場祭	東京大学駒場祭委員会	11/22(土)～24(月・振)	駒場キャンパス 来場者数：80,000人
「横浜春節クーポン」を提示した者に団体料金を適用	横浜春節祭 2025	横浜春節祭実行委員会	1/20(火)～3/31(火)	

(14) 職員の派遣

協力内容	事業名	主催	期間	備考
神奈川県博物館協会役員として高橋館長を派遣	神奈川県博物館協会役員会	神奈川県博物館協会	5/21(水)、11/12(水)	
江東区教育委員会へ文化財審議員として高橋館長を派遣	江東区文化財審議会	江東区教育委員会	5/22(木) 9/11(木)、 11/20(木)、 2/5(木) 3/5(木)	
川崎市立日本民家園専門部会へ委員として高橋館長を派遣	川崎市社会教育委員会 日本民家園専門部会	川崎市立日本民家園	5/25(日)、 12/14(日) 3/20(金・祝)	
大和市郷土民家園へ講師として佐野学芸員を派遣	教室「カイクを知ろう」	大和市郷土民家園	6/22(日)	
横浜市教育委員会へ文化財審議員として高橋館長を派遣	横浜市文化財審議会及び 横浜市無形民俗文化財 検討会	横浜市教育委員会	7/4(金) 12/19(金)	
小田原市郷土文化館協議会委員として高橋館長を派遣	小田原市郷土文化館協議会	小田原市教育委員会 小田原市郷土文化館	2/12(木)	

(15) 広報

当館の特別展や基本情報等について、各種媒体に働きかけた。今年度、掲載された先は次のとおり。公式 X（旧ツイッター）は4日に1回のペースで更新中。

ア 春の企画展 「シルク博物館所新収蔵品展」

区分	媒体名	備考
新聞	東京新聞（4月28日）	
新聞	江ノ電沿線新聞（5月号）	情報欄
ケーブルTV	J COM「ジモトピックス」（4月26日～5月2日 放映）	
情報誌	画廊散歩（4, 5月号）	
情報誌	画廊散歩（6, 7月号）	
機関紙	シルクレポート（4月号）	
機関紙	シルクレポート（7月号）	開催報告
タブロイド紙	定年時代（6月2日）横浜・川崎版	
WEB	東海5県ミュージアムおでかけガイド	
WEB	きものつく	
WEB	婦人画報（デジタル版）	

イ 秋の特別展 「第28回全国染織作品展」

区分	媒体名	備考
新聞	朝日新聞（10月21日）夕刊	美術館博物館
新聞	東京新聞（11月3日）	よこはま・かながわインフォメーション
新聞	朝日新聞（11月11日）夕刊	美術館博物館
新聞	神奈川新聞（11月17日）	イマカナ[文化]
ラジオ	ニッポン放送（ラジオ）「ハローかながわ」	
機関紙	商工季報（秋号）	
機関紙	シルクレポート（10月号）	
機関紙	シルクレポート（1月号）	開催報告
情報誌	画廊散歩（10, 11月号）	
WEB	きものタイムズ	
WEB	よこはまアートナビ	
WEB	婦人画報（デジタル版）	

ウ チャレンジ！かいこプログラム

（ア） 「かいこ教室」

区分	媒体名	備考
新聞	東京新聞（7月20日）	地域の情報
新聞	読売新聞（7月25日）	地域 イベント情報
新聞	神奈川新聞（7月31日）	
機関紙	シルクレポート（7月号）	
機関紙	シルクレポート（10月号）	開催報告

情報誌	画廊散歩 (6, 7 月号)	
情報誌	画廊散歩 (8, 9 月号)	
WEB	かながわ NOW	
WEB	いこーよ	
WEB	よこはまアートナビ	

(イ) 「たのしいかいこの発表会」

区分	媒 体 名	備 考
新聞	東京新聞 (12 月 8 日)	
新聞	神奈川新聞 (12 月 26 日)	
機関紙	シルクレポート (10 月号、1 月号)	
WEB	Peatix	
WEB	いこーよ	
WEB	よこはまアートナビ	
WEB	かながわ NOW	

エ 講座 「シルクが切り拓く未来材料の新たな可能性」

区分	媒 体 名	備 考
WEB	東海 5 県ミュージアムおでかけガイド	
WEB	かながわ NOW	
WEB	大日本蚕糸会 HP	
SNS	大日本蚕糸会 X (ID: @jsanshikai)	
新聞	神奈川新聞 (2 月 20 日)	

オ 常設展、基本情報

区分	媒 体 名	備 考
WEB	All About 旅行	
WEB	YOKOHAMA CRUISE CONCIERGE (英語)	
WEB	ナビタイムジャパン	
WEB	るるぶ 横浜 中華街 みなとみらい '27	令和 8 年度掲載予定
WEB	アットヨコハマ	
冊子	神奈川県発行 社会科参考図書 令和 8 年版「わたしたちの神奈川県」	
情報誌	歩く地図 鎌倉・横浜散歩 2027	

カ その他

区分	媒 体 名	備 考
WEB	関西学院大学 WEB サイト	横浜輸出スカーフ展

SNS (X)	内閣官房「昭和 100 年」関連施策推進室 (ID: @Showa100yrs)	横浜輸出スカーフ展
ケーブル TV	YOU テレビ「横浜ヒストリー」	横浜スカーフの歴史
テレビ	テレビ朝日「火曜の良純孝太郎」	館紹介 (「開港地・横浜から、日本のシルク産業の歴史と文化を紹介」)

(16) その他

ア HP のリニューアル

デザイン性の向上、更新作業の効率化、スマートフォンからアクセスした場合の情報の明瞭化、などを目的として、HP のリニューアルを行った。



▲現在の HP TOP ページ

イ オリジナルグッズの作成

ポストカードを新たに 4 点作成した。各 200 枚、1 枚 150 円で受付及びショップ委託販売とする。

ウ クリスマス装飾

初の試みで会館全体の取り組みとしてクリスマス期の装飾を実施した。2メートル強のツリーに、博物館で生産した生糸を飾りに使い、キャラクター「まゆるん」のウォールディスプレイ、繭と真綿を使ったウィンドディスプレイを掲出した。以後、年次イベントとして継続する。



生糸とシルクリボンのツリー



博物館キャラクターまゆるん



まゆと真綿を使ったディスプレイ

5 資料

(1) 組織と職員

【組織図】

一般財団法人シルクセンター国際貿易観光会館
専務理事 — 事務局長

|

(シルク博物館)

博物館部次長(館長)(1) — 学芸課長(1)

主査(1) 学芸員(2)

非常勤職員(3)

臨時職員(1) R7. 11～R8. 3. 31 ※()内は人員数

【委嘱者氏名】 名誉館長

マリ クリスティーン

【職員氏名】

館長

学芸課長(学芸員)

主査

学芸員

学芸員(嘱託職員)

事務職員(非常勤職員)

高橋 典子

石鍋 由美子

前田 恵美子

佐野 遊海

石渡 桃子(R7. 9. 28 まで)

中村 由佳

岩城 奈都子

宮田 朋生

(2) 事業費

(単位：円)

費 目	内 容	令和7年度
博物館事業費		9,343,088
(内訳)		
普及事業費	常設展示費・特別展開催等	7,789,952
資料整備費	資料補修費・図書資料等収集費等	41,355
広報事業費	広告掲載費・広告資料作成費等	1,016,400
運営管理費	運営委員会開催費・損害保険料	495,381

(3) 所蔵資料

(単位：点)

資 料 名	前年度末の累計 収集・寄贈	令和7年度			本年度末の累計
		購入	寄贈	登録替	
資 料	6,999	2	7	—	7,008
図 書	8,733	6	6	—	8,745
計	15,732	8	13	—	15,753

※1 令和8年1月31日現在の登録数

(4) 入館者状況

(単位：人)

区 分	個 人			割引料金 ※2			無料 ※3	合 計
	一般	シニア・大	高校生以下	一般	シニア・大	高校生以下		
4 月	338	271	123	154	13	0	359	1,258
【 22 日】	(103)	(164)	(7)	(110)	(0)	(0)	(40)	(424)
5 月	436	211	336	71	67	323	719	2,163
【 27 日】	(96)	(66)	(5)	(23)	(5)	(1)	(28)	(224)
6 月	334	136	191	10	59	155	294	1,179
【 19 日】	(38)	(31)	(11)	(0)	(6)	(0)	(23)	(109)
7 月	500	146	252	19	17	119	440	1,493
【 27 日】	(54)	(25)	(2)	(0)	(0)	(0)	(16)	(97)
8 月	746	158	345	18	10	9	421	1,707
【 26 日】	(74)	(43)	(4)	(0)	(0)	(0)	(11)	(132)
9 月	368	121	96	57	142	412	303	1,499
【 22 日】	(63)	(41)	(1)	(0)	(0)	(0)	(9)	(114)
10 月	408	248	78	73	17	274	347	1,445
【 23 日】	(109)	(95)	(3)	(0)	(0)	(0)	(14)	(221)
11 月	472	358	99	113	177	622	741	2,582
【 25 日】	(65)	(67)	(2)	(45)	(10)	(161)	(73)	(423)
12 月	214	55	47	12	39	190	534	1,091
【 19 日】	(49)	(8)	(4)	(0)	(0)	(0)	(20)	(81)
1 月	254	95	98	24	37	256	653	1,417
【 23 日】	(31)	(7)	(2)	(0)	(0)	(0)	(6)	(46)
2 月	284	122	123	89	13	345	307	1,283
【 23 日】	(37)	(29)	(3)	(1)	(0)	(0)	(8)	(78)
3 月	429	176	135	135	35	18	412	1,340
【 26 日】	(96)	(59)	(4)	(65)	(32)	(0)	(26)	(282)
計	4,783	2,097	1,923	775	626	2,723	5,530	18,457
【282 日】	(815)	(635)	(48)	(244)	(53)	(162)	(274)	(2,231)

※1 【 】：開館日数、()：外国人の人数を内書き

※2 「割引料金」：各種割引による入館者

※3 「無料」：招待券、優待券等による無料入館者

(5) 過去の特別展・企画展一覧

年 度	特 別 展 等
1959(昭和 34)	シルクセンター竣工記念全国輸出振興展
	特別展『蚕織錦絵展』
1960(昭和 35)	特別展『近世日本衣装名品展』
1961(昭和 36)	特別展『近代染織名作展』
1962(昭和 37)	特別展『日本伝統染織工芸展』
1964(昭和 39)	特別展『オリンピック東京大会記念シルクフェア』
1965(昭和 40)	特別展『能装束展』
1966(昭和 41)	「第 8 回米国貿易見本市出品絹製品展示会」
	特別展『伝統染織作品と紅染資料展』
1967(昭和 42)	特別展『紋と繡の美展』
1968(昭和 43)	特別展 開館 10 周年記念『シルク博物館所蔵品展』

1969(昭和 44)	特別展『江戸時代能装束展』
1970(昭和 45)	特別展『花のきものと髪かざり展』
	特別展『第 1 回シルク博物館染織作品展』
1971(昭和 46)	特別展『第 2 回シルク博物館染織作品展』
1972(昭和 47)	特別展『第 3 回シルク博物館染織作品展』
1973(昭和 48)	特別展『第 4 回シルク博物館染織作品展』
1974(昭和 49)	特別展『第 5 回シルク博物館染織作品展』
1976(昭和 51)	特別展『ヨコハマのスカーフ展』
1977(昭和 52)	特別展『世界の民族衣装展』
1978(昭和 53)	特別展『人間国宝による「絹の伝統染織名作展」』
1979(昭和 54)	特別展『横浜絹の祭典と染織新作展』
1980(昭和 55)	特別展『思い出のきもの展』
1981(昭和 56)	特別展『草木染展と染織新作展』
1982(昭和 57)	特別展『洋装のあゆみとニューファッション展』
1983(昭和 58)	特別展『ふるさとの絹展と第 8 回染織作品展』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
1984(昭和 59)	特別展『花嫁衣装展』
	特別展『江戸期から現代までの「江戸小紋展」』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『郷土かながわの染織作品展』
1985(昭和 60)	特別展『日本人形の細工物展』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『フランス絹織物栄光とその先達「リヨン織物美術館秘蔵品展」』
1986(昭和 61)	特別展『ヨコハマのスカーフ展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『関東の絹展と第 9 回染織作品展』
1987(昭和 62)	特別展『レースの美展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ファッションデザイナーによる'87 ニューウェーブきもの展』
1988(昭和 63)	特別展『ふろしきの今昔展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『'88 ニューシルク展と第 10 回染織作品展』
1989(平成元)	特別展『シルク博物館所蔵名品展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『華麗なる絹の世界へ「絹の文化展」～江戸と現代～』
1990(平成 2)	特別展『「日本の紬展」～紬のふる里を訪ねて～』
1990(平成 2)	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクまつり'90 と第 11 回染織作品展』
1991(平成 3)	特別展『館蔵「蚕織錦絵展」～錦絵にみる時代風俗と衣装～』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『～桂由美コレクション～「世界の民族花嫁衣装展」』
1992(平成 4)	特別展『館蔵「染織名品展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェア'92 と第 12 回染織作品展』
1993(平成 5)	特別展『館蔵「江戸小袖展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『「絹と化粧まわし展」～戦後横綱の化粧まわしによる～』
1994(平成 6)	特別展『館蔵「江戸古裂展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』

	特別展『シルクフェスタ'94 と第 13 回染織作品展』
1995(平成 7)	特別展『～繡の美～「甦る足柄刺繍展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『「思い出のきもの展」－PART II－ ～昭和・平成の衣裳作品から～』
1996(平成 8)	特別展『～日本人の贈りもの～「掛袱紗展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェア'96 と第 14 回染織作品展』
1997(平成 9)	特別展『アヅマカブキの舞踊衣装展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『～手織りの芸術美～「ラオスの伝統織物展」』
1998(平成 10)	特別展『カイクの道具展とシルクフェア'98』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 15 回染織作品展と秋のシルクフェア』
1999(平成 11)	特別展『文化の伝承－江戸から現代へ「華麗なる能装束の美」展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『染めの美織りの美 ～人間国宝作家作品を中心として～』
2000(平成 12)	特別展『沖縄の伝統染織展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 16 回全国染織作品展』
2001(平成 13)	特別展『人生をかけた荒井照太郎の手描友禅その美』
	企画展『「熊田千佳穂の昆虫記録展」と親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ブータンの民族衣装とシルクフェア』
2002(平成 14)	特別展『中村光哉友禅染色の詩展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 17 回全国染織作品展とシルクフェア』
2003(平成 15)	特別展『糸目友禅の巧み「人間国宝 山田貢展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『市田ひろみコレクション「世界の民族衣装展」』
2004(平成 16)	特別展『自然をいつくしむ手描友禅「人間国宝 田島比呂子展」』
	企画展『親と子の「歌舞伎人形とかいこの自然科学教室」』
	特別展『第 18 回全国染織作品展』
2005(平成 17)	特別展『世界のふろしき展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『今に伝えるつむぎの魅力』
2006(平成 18)	特別展『「人間国宝 細見華岳展」－綴織に心を込めて－』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
2006(平成 18)	特別展『第 19 回全国染織作品展』
2007(平成 19)	特別展『インド サリーの世界』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『旧山辺知行コレクション「インドの染織展」』
2008(平成 20)	特別展『アロハ・デザイン展』
	特別展『ラオス女性が伝える手織りの世界』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 20 回全国染織作品展』
2009(平成 21)	特別展『佐賀錦のみやびな世界「人間国宝 古賀フミ展」』
	特別展『開館 50 周年記念「ヨコハマ開港とシルク展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『鈴木一コレクション「古渡り更紗と名物裂展」』
2010(平成 22)	特別展『ペルシャシルク絨毯の世界』

	特別展『華麗なる能装束「稔りの季」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 21 回全国染織作品展』
2011(平成 23)	特別展『「三浦景生展」ーヨコハマ染陶暦程ー』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ー平山郁夫シルクロード美術館コレクションー
	「豊饒なる色彩ーウズベキスタンの布と器」
2012(平成 24)	特別展『「美しい日本の絹」ユミ カツラブライダルコレクション』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 22 回全国染織作品展』
2013(平成 25)	特別展『群馬県立日本絹の里との提携記念
	「夢を紡いだシルク」ー「蚕の国」群馬と「シルクの街」ヨコハマー』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ー美しい日本の絹ー「友禅」』
2014(平成 26)	企画展『世界に羽ばたいたスカーフたち』
	企画『親と子のかいこの自然科学教室』
	特別展『第 23 回全国染織作品展』
2015(平成 27)	企画『親と子のかいこの自然科学教室』
	特別展『今に生きる 江戸小紋 ～小宮家四代の作品を中心に～』
2016(平成 28)	企画展『キモノの美ー人間国宝田島比呂子の友禅ー』
	特別展『第 24 回全国染織作品展』
2017(平成 29)	企画展『ふくらむ はずむ まじわる シルクの輝きを知る～織りの美～』
	特別展『横浜・生糸ものがたりⅠ “かいこ” と暮らすーかながわ養蚕録ー』
2018(平成 30)	企画展『江戸の粋とデザインー小袖コレクションから』
	特別展『第 25 回全国染織作品展』
2019 (平成 31・令和元)	企画展 開館 60 周年記念所蔵名品展 「シルクのシンフォニー ～染と刺繍のかがやき～」
	特別展 開館 60 周年記念 横浜・生糸ものがたりⅡ 「白き糸の調べーかながわの製糸・撚糸ー」
2020 (令和 2)	(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
2021 (令和 3)	企画展『描かれた養蚕 ー蚕織錦絵の世界ー』
	特別展『第 26 回全国染織作品展』
2022 (令和 4)	企画展『紬のきもの』
	特別展 『「横浜・生糸」ものがたりⅢ 横浜から世界へ ー海を渡った生糸ー』
2023 (令和 5)	企画展『絹を彩る鳥たち』
	特別展『第 27 回全国染織作品展』
2024 (令和 6)	企画展『花嫁衣装ー晴れの日の模様と彩りー』
	特別展『型が奏でるリズムと色彩ー型絵染 8 人展』
2025 (令和 7)	企画展『シルク博物館 新収蔵品展』
	特別展『第 28 回全国染織作品展』

(6) シルク博物館 基本方針

シルク博物館は昭和 34（1959）年 3 月 12 日、横浜開港 100 年記念事業として建設されたシルクセンタービル内に開設されました。

所在地の横浜市中区山下町 1 番地は、横浜開港当時から関東大震災の頃まで英国商社ジャーディン・マセソン商会（通称：英一番館）があった場所で、横浜とシルクの歴史にとって記念すべき場所といえます。

当館は、シルク（絹）に関する知識の普及・伝承、シルク製品の需要促進、国際貿易及び観光の振興等に寄与することを目的とし、「シルクのすべて」を学び、鑑賞できる博物館として、シルクの魅力を伝える展示、蚕やシルクの理解促進のための教育普及事業、優れたシルクの工芸品やシルクの文化や歴史に関する資料の収集と保管等に取り組んでいます。

当館では、今後も収蔵品の充実に努めるとともに、世界でも数少ない絹専門の総合博物館として、幅広い層にシルクの魅力を発信していきます。

1. 展示

- ・すぐれた絹の美術工芸品を鑑賞する場を提供します
- ・シルクの魅力を再発見できる魅力的な展覧会を開催します
- ・常設展は適宜展示替をおこない、貴重な収蔵品を広く公開します
- ・展示を通してシルクに関する最新の知見を発信します
- ・年間を通して蚕の生体展示や繰糸器械の動態展示を行い、実物との出会いがもたらす感動を届けます
- ・映像の活用や触って体験できる展示によって、だれもが（大人、子ども、外国人、障がいの有無を問わず）楽しく学べるよう工夫します

2. 教育普及

- ・学校教育と連携しながら、子ども向けのさまざまな事業を展開し、蚕やシルクに関する興味の喚起と知識の普及に努めます
- ・真綿や紬糸、絹の染織などに関わるワークショップを開催し、それらの伝統技術の普及、継承に貢献します

3. 収集・保存

- ・シルクの優れた工芸品、横浜とシルクの歴史に関する資料、日本の蚕糸業に関する資料、蚕やシルクを用いた最新技術などに関する資料を収集し、コレクションの充実に努めます
- ・収集した作品、資料の調査研究と適切な保存管理をおこないます

4. 調査研究・情報発信

- ・所蔵品や蔵書のリストをデジタル化してホームページ上に掲載するなどし、所蔵品の一般公開に努めます
- ・一部の所蔵品についてはその画像をデジタル化して公開に努めます
- ・所蔵品や蔵書が調査研究に活用されるよう、所蔵品へのアクセシビリティを高めます
- ・他機関や地域社会、研究者等と積極的に連携・協力し、社会の要請に応える博物館として活動できるよう努めます

5. 管理・運営

- ・すべての利用者が安全、かつ快適に利用でき、貴重な所蔵品を次世代へ確実に継承するため、施設・設備の維持管理を行います
- ・当館の活動目標を達成するために、職員の研修や研究活動等を奨励し、職員のスキルアップに努めます
- ・危機管理、アメニティなどに対する職員の意識向上に努めます

(7) シルク博物館 収集方針

シルク博物館は、横浜開港以来、日本の近代化を牽引してきた蚕糸業の歴史と絹の科学・技術に対する理解を深めるとともに、養蚕・製糸・絹製品に実際に触れる機会の提供、主要なシルク製品の産地の紹介、貴重な絹服飾の工芸美の鑑賞の場を提供することを目的として活動している。

この活動指針のもと、下記に挙げた分類に則して資料の収集・調査・保存に努め、コレクションのさらなる充実を目指す。

1. 収集する資料の分類

- (1) 古文書類（蚕糸、染織に関する古文書、古書、養蚕錦絵、守護札等）
- (2) 染織作品・服飾品（小袖、きもの類、和装小物、民族衣装類、洋装類、生地類、室内装飾品類、壁掛、屏風、額、細工物、人形類等）
- (3) 原料類（繭、生糸、絹糸等）
- (4) 蚕糸器具類、織機類、染織用具類等
- (5) 写真類（写真、ビデオ、ネガフィルム、ポジフィルム等）
- (6) 一般書籍類（博物館等関係機関・団体等の発行書籍、図録、定期刊行物、雑誌類等）
- (7) その他（博物館の展示、普及活動等に必要と認められるもの）

2. 収集資料の活用、管理について

収集方法に関わらず、シルク博物館の収蔵品として適切に維持・管理し、博物館活動において活用するものとする。ただし、著しい劣化により他の資料や環境に悪影響を及ぼす状態と判断される場合や、シルク博物館での活用が困難となった場合は、持続的な博物館運営を担保するために、専門家から意見を聴取したうえで適切な処置（登録台帳からの抹消等）を行うことを検討する。

令和7年7月8日 施行
令和8年3月31日 改訂

シルク博物館令和 7 年度年報

令和 8 年 6 月 1 日
編集・発行 シルク博物館

〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町 1 番地
TEL045-641-0841